

# 令和6年度事業報告書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

特定非営利活動法人 しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福岡

## 1 事業の成果

令和3年4月から指定管理者として事業受託した福岡市立ひとり親家庭支援センター（以下センター）の管理・運営の第4期4年目である。指定期間は令和3年度～令和7年度の5年間である。

就業支援講習会は、今年度よりオンラインで2講座を実施し40名が受講した。就業支援セミナーでも初めての試みとしてオンラインで「はじめてのAIセミナー」を1回実施した。生活支援講習会、養育費・親子交流セミナー、その他の事業は予定通り実施できた。その他の事業では、今年度より講座受講生などに空き部屋を自習室として利用できるようにし、31回の利用があった。

日常生活支援事業は、利用登録者は61人で前年度より3人減少したが、実利用者数は47人で前年度より8人増加、利用回数は254回で前年度より89回増加した。支援員登録者は50人で、子育て支援研修修了者など6人の新規登録があった。

福岡市自立支援プログラム策定事業は、新規策定者が62人、就職者が59人で就職率64.1%で前年度の56%から8.1%増加した。本事業は、伴走型の就業支援で生活保護受給者等就労自立支援事業の活用やハローワークとの連携により、策定者の就職につながった。

NPO事務所は週2回5.5時間ずつ開所し、そのうち3時間は電話相談を受けた。

こども家庭庁事業（ひとり親等食事等支援事業）、劇団陽プロジェクト提供チケットや映画鑑賞券の配布などひとり親を対象とした事業を手掛けることができた。初めての試みであるFUKUOKAChristmasFestaに協力団体として参加し、「まちじゅうこども食堂」、「ふくおか国際映画祭」の情報をホームページやラインで発信し、たくさんのひとり親家庭の親子が外食や映画鑑賞の体験を得ることができた。「高校入学お祝い金事業」も引き続き実施した。広報が十分ではなく、募集予定人数に達しなかったが、受け取ったひとり親家庭の父母、お子さんからは「大事に使いたい」との声が寄せられた。（株）ウエストうどん玉募金からの寄付金を活用した。

子育て支援事業のメインイベントである親子リフレッシュ事業は、遊具が充実していると評判の「海の中道海浜公園」に現地集合で開催した。あいにく雨模様だったが、レクリエーション指導者のもと、全員参加でアイスブレイクのゲームをし、参加者どうしやボランティア学生と交流が図られた。その場で仲良くなった家族とお弁当を囲み、見ごろのコスモス鑑賞や遊具を楽しんだ。福岡市母子福祉会芙蓉基金からの助成金を費用の一部に当てた。

福岡おもちゃ美術館の招待に応募し、親子で貴重な体験ができた、集中して遊べたなどの感想が寄せられた。

企画委員会では、子育て中のシングルマザー2名から子育て支援事業への要望や提案を聞き2人はスタッフとして参加した。今年のクリスマス行事は、風の子九州『モシモランド』鑑賞。焼き菓子詰め合わせをお土産に渡し喜ばれた。ソロプチミスト福岡中央からの寄付金を費用にあてた。花見は寒さで開花が遅れていたが、時期もぴったりで親子で花見を楽しみ、参加者どうしの交流も図られた。

ゆるやかなネットワークであるシングルマザーサポート団体全国協議会は、4月に「NPO法人ひとり親家庭サポート団体全国協議会」となり、引き続きコロナ禍の影響や物価高騰が続くため、仕事を失ったり、収入が減少したひとり親への支援を各地で継続している。当団体は「新学期応援食糧支援2024」「夏休み応援食糧支援2024」と銘打って、お米、(株)ピエトロからの提供品、おてらおやつクラブのおすそ分けなどを宅急便で届けた。こども家庭庁のひとり親等食事支援事業として、米5K、食用油などを11月に届けた。福岡市生活困窮者支援活動事業では、12月に「年末応援食糧支援」として、年末必需品を宅配し喜ばれた。季節ごとに希望者に抽選で届けることができた。

9月に東京でNPO法人ひとり親家庭サポート団体全国協議会第1回記念大会が開催された。大会では当事者のリレートークや、調査研究の結果報告があり、行動計画を発表して対外的な発信の場となった。毎月1回、Zoomで情報交換会を行い、各地の取組やチャレンジプログラムに参加することで団体が抱える課題を可視化することができた。大会に向けた打合せなども行った。

令和3年3月に始まった家族法に関する法制審議会が終わり、令和6年3月に民法改正の法案が提出された。5月に可決され2年後に施行されることとなった。国会で様々な懸念が質問されたが、あいまいなまま法改正がなされたと言わざるを得ない。何がどう変わるのかを詳しく知るためのセミナーを開催し、理解を深めた。

任意団体の活動開始から40周年にあたるので、発足から現在に至る活動を振り返るランチ会を開催し、これからの活動への道筋を共に考える機会となった。

## (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施時期	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び参加人数	支出額 (千円)
就労支援事業	福岡市立ひとり親家庭支援センターの無料職業紹介事業を受託	令和6年4月～ 令和7年3月	福岡市立ひとり親家庭支援センター	6人	福岡市内のひとり親、寡婦 294人	0
相談事業	離婚、生活相談 (電話、メール)	令和6年4月～ 令和7年3月	当会事務所	2人	主としてひとり親 89人	0
セミナー事業	共同親権セミナー	令和6年10月20日	福岡市 アミカス	6人	114人	143
		令和7年2月23日	福岡市 アミカス	5人	34人	73
	ひとり親家庭のつどい ワークショップスタッフ	令和6年11月17日	福岡市立ひとり親家庭支援センター	1人	福岡市内ひとり親と子ども 58人	2
出版事業	母子家庭に関する 会報の発行	年3回(7月、11月、 3月)	当会事務所	2人	購読者 141人	72
子育て 支援事業	シェフと作ろうサラダパスタ	令和6年8月3日	福岡市中央区	1人	ひとり親と子ども 18人	6
	リフレッシュ事業 海の中道公園で遊ぼう	令和6年11月10日	福岡市東区 海の中道	3人	ひとり親と子ども 56人	135
	親子で楽しむ観劇会 (風の子九州)	令和6年12月21日	福岡市	5人	ひとり親と子ども 70人	275
	福岡おもちゃ美術館で遊ぼう	令和7年3月5日	福岡市	2人	ひとり親と子ども 28人	6
	入学お祝い金事業	令和7年3月	当会事務所	2人	ひとり親と子ども 44人	2,205
	花見	令和7年3月29日	福岡市中央区	3人	ひとり親と子ども 11人	34
調査・研究 事業	シングルマザーの生活調査	令和6年6月～ 7月	福岡市	2人	ひとり親 437人	0
福祉事業	食糧支援、映画鑑賞券・観劇 チケット配布・まちじゅうこども 食堂・映画祭情報提供(おて らおやつクラブ、ピエトロ提供 品含む)	令和6年4月～ 令和7年3月	当会事務所	2人	福岡県内のひとり親家庭 1068人	1,578
他団体の 事業受託	年末応援食糧支援 (福岡市生活困窮者支援活動事 業)	令和6年12月	当会事務所	3人	福岡県内のひとり親 130人	535
	こども家庭庁 (ひとり親家庭食事支援事業)	令和6年11月	当会事務所	4人	福岡県内のひとり親 400人	2,306
	福岡市立ひとり親家庭支援セン ターの管理・運営	令和6年4月～ 令和7年3月	福岡市立ひとり親家庭支援センター	11人	福岡市内のひとり親、寡婦 10,541人	54,780
	福岡市ひとり親家庭等日常生活 支援事業	令和6年4月～ 令和7年3月	福岡市立ひとり親家庭支援センター	29	福岡市内のひとり親、寡婦 254回	1,995
その他法 人の目的 達成の為 の事業	40周年記念ランチ会	令和7年1月18日	福岡市	6人	ひとり親と支援者 28人	96
	ひとり親家庭サポート団体 全国協議会活動	令和6年4月～ 令和7年3月 令和6年9月	各団体事務所にて Zoom会議	1人 2人	参加団体 32団体 参加者 105人	0 96